

ABOUT おおぶこども輝く未来応援八策

結婚・妊娠から始まり、生まれたこどもが、大人になるまでの各ライフステージに応じた5つの「柱」の施策と、ライフステージを通じたこども・子育ての基盤となる3つの「梁」の施策からなります。

こどもの目線に立ち、こどもの声を聴き、強くしなやかな柱と梁で、こども施策を強力に推進し、全てのこどもや子育て家庭の心に寄り添う、きめ細やかで切れ目のない支援を目指します。



MEMO 坂本龍馬からインスピレーション 船中八策

八策とは、江戸時代末期に、坂本龍馬が藩船上で、未来の国家体制の礎となる体制を構想したとされる策で、未来を見通した優れた策の象徴として用いています。

5本の柱と3本の梁で、こどもたちの未来を支える おおぶこども輝く未来応援八策

健康未来政策課 ☎(85) 3232

「次元の異なる少子化対策」。そんな言葉が聞かれるほど、日本の少子化は進行しています。一方、大府市の合計特殊出生率は、県内2位の1.71です。これは、全国平均の1.33・県平均の1.44を大きく上回っています(出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計の概況」(H30～R4))。市では、こどもと子育て世帯の視点に立って、育児負担の軽減、保育・教育環境の充実、相談支援、経済的支援など、さまざまな取り組みを実施してきました。今回の特集では、こどもたちが自分らしく輝き、大人になっても健やかに暮らし続けられる未来を実現するために策定した「おおぶこども輝く未来応援八策」について、特色ある事業を紹介します。

1 結婚・妊娠・出産

希望する人が安心して結婚し、妊娠・出産できるよう包括的に支援します。

産前・産後サポーターの派遣 →P6

産後ケアの拡充 (短時間日帰り型・アウトリーチ型を追加)

不妊治療補助の拡充 (先進医療・混合診療を追加)

2 子育て(就園前)

子育ての不安を軽減し、こどもの健やかな成長を支えます。

こんにちは赤ちゃん訪問の拡充 →P6

こども誰でも通園制度 試行的事業の実施

一時的保育サービスの WEB予約・キャッシュレス決済の導入

3 幼児 教育保育

誰もが利用しやすい 幼児教育保育 くと、安全で質の高いを提供します。

保育士配置 基準の拡充

病児・病後 児保育の 利用施設 拡充 →P6

4 小・中学校

心身共に健康で、知恵と愛を持つこどもを育みます。

中学生の給食費の無償化

小・中学校のバリアフリー化 (エレベーターの設置など)

学習支援事業「まなポート」の拡充 →P7

放課後クラブにおける 夏休み期間中の昼食提供

5 高校・大学・若者

学生の学びの道を開き、若者の活躍と交流(出会い)の機会を創出します。

ひとり親家庭等 大学受験料・模擬試験受験料 助成制度の創設

若者の出会いの機会の提供 (出会いイベント・交流イベントの開催) →P7

若者会議の開催 →P8

6 生活・相談・支援

子育て生活と親子の心に寄り添う、きめ細やかな支援をします。

こども家庭センターの開設(全ての妊産婦・子育て世帯・こどもの相談支援拠点として設置) →P9

7 地域づくり

みんなでこどもを育む、こどもどまんなか地域をつくれます。

こどもどまんなか応援サポーターの拡大 →P9

8 遊び・教養

多様な遊び、文化芸術・スポーツを通じて、創造力と豊かな感性を養います。

おもちゃ美術館の整備 →P9

大府市民球場の開設

ジュニア弦楽団・合唱団の創設

学習支援事業「まなポート」の対象の拡充



まなポートでは、学習の習慣付けを行うことで生きる力を育み、地域で子どもたちの成長を支える仕組みを構築することを旨として、大学生などのボランティアが市内4つの公民館で、子どもたちの自主的な学習を支援しています。

まなポートとは、「まなび」と「サポート」を組み合わせた造語で、子どもたちが集まって切磋琢磨しながら学び合う場であるとともに、それぞれの進路への旅立ちの場であって欲しいという願いから、「ポート」には「港」という意味も込められています。

令和6年度から中学生だけではなく、新たに小学4～6年生も対象に加えました。



INTERVIEW 勉強を学べる、楽しい居場所の一つにしたい

最初は、学校や学年も違うのでお互いのことを知らず、緊張していた子どもたちが、参加していくうちにだんだんと打ち解けて、楽しく勉強しています。

まなポートが、子どもたちにとって楽しく学習できる場でもあり、楽しい居場所の一つになってほしいと思います。

運営責任者 窪塚まゆみさん

INTERVIEW 大好きな子どもたちの力になりたい

子どもと関わるのが好きなので、子どもたちの力になりたいと思っていた時にこの事業を知って、令和6年度から参加しました。

まなポートは、勉強ばかりの気難しいところではありません。周りの友達も巻き込んで、ちょっと遊びがてら勉強しようと気軽な感じで、ぜひ参加してほしいです。

学生ボランティア 小谷光海さん



若者の出会いの機会の提供



▼ 令和5年度に実施した若者の仲間づくりイベント

新型コロナの影響により、SNSなどでの交流の機会は増えてきましたが、若者同士の直接的な交流の場が減ってしまいました。

市が主催する若者会議では、若者の居場所や気軽に立ち寄れる場を求める声が多くありました。若者が、仲間づくりや出会いを通して、大府に愛着を持ち、住み続けたいまちと思えるよう、若者の意見を取り入れた交流や出会いの場を提供しています。



産前・産後サポーターの派遣



妊娠期から出産後の家庭を支援するため、家事援助などにより、家庭の負担を軽減することを目的とした産前・産後サポーターを利用者の自宅に派遣します。

対象は、市内在住の妊婦または市内在住の産後6カ月以内の家庭で、親族などから支援を受けることが難しい方。料理・掃除・洗濯・買い物などの家事援助と、沐浴介助・おむつ交換などの育児支援を行います。

生後8カ月児を対象とした保健師による全戸訪問



生後1・2カ月の子どもがいる家庭に保健師などが訪問して、計測や育児相談を行う「こんにちは赤ちゃん訪問」に加え、子どもが8カ月を迎えるタイミングで、再度保健師が紙おむつを持参して各家庭を訪問し、困り事などがないかを伺う事業を4月から開始しました。



生後8カ月は、子どもの食事・発達で成長が見られる時期であり、保護者の中には「離乳食をどのように進めたらいいか」「発達は大丈夫か」など、育児への困り事を多く抱える時期です。そういった保護者の悩みに寄り添いながら一緒に育児方法を見つけ、不安が少しでも解消できるよう訪問を行っています。

パパ交流会



土曜日に子どもステーションを開放し、就学前の子どもを育てるパパたちの交流会を開催しています。

親子で一緒に遊んだり、パパ同士で子育てに関する悩みなどを話したりできます。



VOICE

日頃の子育ての悩みを相談すると、みんな同じことで悩んでいることが分かってほっとしました。いろいろな話ができて良かったです。



病児・病後児保育の利用施設の拡充



病児・病後児保育は、急な病気などで保育園などに預けることができない子どもを、保護者に代わって預かる制度で、病気のこどもの自宅などにスタッフを派遣する派遣型と、医療機関に併設した施設で保育する施設型があります。

子育て支援の拡充のため、名古屋市と相互利用に関する協定を締結し、4月から大府市民が、名古屋市の施設を名古屋市民と同一料金で利用できるようになりました。さらに、市内の共和病院で施設型の病児・病後児保育施設の開所を予定し、より多くの方に利用してもらえるよう受け皿を拡充します。

こども家庭センターの開設



4月から、保健センターの2階にこども家庭センターをオープンしました。
こども家庭センターでは、保健師・助産師・保育士などの資格を持ったスタッフが、母子健康手帳の交付、妊産婦・こどもの健康・子育ての困り事の相談など、全ての妊産婦やこどもとその家族からの相談に対応しています。

こどもどまんなか応援サポーターの拡大



こどもに関わるあらゆる立場の人や団体などが協力して、地域の中でこどもを育むまちを「こどもどまんなかおおぶ」と呼んでいます。
市は、令和5年8月に「大府市こどもどまんなか応援サポーター宣言」しました。さらに、市内の団体・企業・事業所なども「大府市こどもどまんなか応援サポーター」となり、地域でこどもを育むまちづくりを進めています。

INTERVIEW 愛を込めてこどもたちの生活に寄り添える会社でありたい

大府で20年以上にわたり会社を続けさせていただいている中、何か地域に貢献できることはないかなと思っていたところ、子育て支援サークル「あそびのいっぽ」と縁があり、必要な家庭におせち料理を届けることができました。5月からは、全世代型サロン「タマキッズ」を始めています。料理にこだわり、バランスが良く、おいしく真心を込めた食事を提供しています。お子さんたちの喜んでる姿を見ると、とてもうれしく思います。これからも食品を扱う会社として、市民の皆さんの生活に寄り添っていかれたらと思います。

こどもどまんなか応援サポーター ㈱玉清 代表取締役社長 大野真弓さん



こどものための屋内遊び場「おもちゃ美術館」の整備



近年、地球温暖化の影響により、こどもの熱中症リスクが高まり、市民からは、天候に左右されることなく、屋内で安全に遊ぶことができる場を求める声が寄せられていました。
そこで、遊びと体験を通じてこどもたちの創造力と豊かな感性、主体性を育む場を創出する屋内の遊び場として、五感で木の温もりを感じられる「おもちゃ美術館」を整備します。



▲ 施設イメージ (木曾おもちゃ美術館)

EVENT ワークショップ みんなで大府らしいおもちゃ美術館をつくらう

オリジナリティのある施設にするため、おもちゃ美術館の整備について一緒に考えます。

- ▶ **日時** 8/30(金) 13:30~15:30
- ▶ **場所** 市役所
- ▶ **対象** 市内在住・在勤・在学の18歳以上の方(こどもの同伴可)
- ▶ **定員** 10人(抽選)
- ▶ **料金** 無料
- ▶ **申込** 8/2(金)~12(月)に市ウェブサイトへ。



健康未来政策課 ☎(85) 3232

PICK UP



若者会議



無作為に抽出した市内在住の19~29歳の若者3000人の中から参加した11人の若者が、思いやアイデアを話し合い、その実現に向け、自ら政策を企画立案し、実際に事業を実施する取り組みです。

若者視点でのまちづくりを推進することで、未来の大府を担っていく若者世代が大府に愛着を持つことや、まちの魅力をさらに高めることを目指します。

..... これまでに多くの若者の提案を実現してきました

提案

若者は、大府をおしゃれなまちにしたい

提案

若者の育成・支援部署
NEW☆ジェネ課を設立してほしい

結果

バイオリンを活用したおしゃれなまちづくり

ふれあいバスの車内アナウンス音にバイオリンの音色を使用するなど、街中でバイオリンを感じられる取り組みを進めています。令和7年3月には、コンテストで選ばれたバイオリンモチーフのオブジェをJR大府駅東側に設置します。

結果

こども若者女性課
ニュージェネ&女性係を創設

若者からのアイデアを受け、新たに若者の出会いイベントの開催など、若者育成・支援事業をより一層、推進しています。



INTERVIEW 大府をおしゃれにして、知名度を上げたい

自分の意見や思いをそのまま取り入れてもらえる機会があるのなら、ぜひ参加してみたいと思いました。私は、ファッションが大好きなので、大府をおしゃれにするため、市職員を变身させるファッションショーを開催したいです。そして、最終的に大府の知名度を上げて、地域の活性化につなげていきたいです。

参加者 大辻泰地さん

INTERVIEW 大府に愛着を持つ若者の輪を広げていきたい

実際に会議に参加して、みんなの斬新な意見を聞いているだけで、すごくワクワクして、意見交換が楽しいなと思っています。まずは、チームで企画して提案したことを最後までやり遂げたいです。そして、私たちが提案したイベントなどを通して、大府のことを好きになる若者の輪を広げていけたらいいなと思っています。

参加者 稲垣優花さん



EVENT 令和6年度の若者の主張 若者会議政策提言発表会

若者が、夢や思いを実現するために、企画立案した政策を市に提言します。

- ▶ **日時** 9/29(日) 9:30~12:00
- ▶ **場所** ミューいしがせ
- ▶ **定員** 30人(先着順)
- ▶ **料金** 無料
- ▶ **申込** 8/2(金)から電話またはメール(件名にイベント名、本文に名前・連絡先を明記)でこども若者女性課へ。

こども若者女性課 ☎(85) 3320 ✉kodomu@city.obu.lg.jp